



G20 南アフリカ 2025
環境・気候持続可能性作業部会 (ECSWG)



大気質に関する ケープタウン閣僚宣言

我々、G20 環境・気候大臣及び招待国は、2025 年 10 月 16 日及び 17 日に南アフリカのケープタウンで一堂に会し、「大気質に関するケープタウン閣僚宣言」を採択した。

1. 我々は、劣悪な大気質がもたらす重大なリスクを認識し、人の健康、特に子ども、高齢者、障害を持つ人々を含む脆弱な立場にある人々への影響に対処するために、大気質を改善する必要性を認識する。我々はまた、屋内及び屋外の大気汚染が、世界的な疾病負荷の一因であり、早期死亡の原因、及び高い経済的コストであることを認識する。我々は、国連環境総会 (UNEA) 決議 6/10 を歓迎し、その継続的な実施を求める。
2. 我々は、UNEA 決議 6/10 及び世界大気質協力ネットワークに沿って、地方、国、地域レベルを含む、越境大気汚染対策のための国際的な連携を引き続き支持し、長距離越境大気汚染条約の締約国による行動と努力に留意し、特にアフリカ、アジア、ラテンアメリカにおける地域的な清浄な大気のための取組に関する連携を奨励する。
3. 我々は、利用可能な最良の技術に関する情報共有のための連携を奨励し、異なる政策及び分野間の相乗効果を促進しつつ、あらゆる資金源を動員しながら、大気質改善措置の採用と実施を推進する。
4. 我々は、オープンで信頼性の高い大気質データの重要性を認識し、持続可能なモニタリングへのアクセスを現在それが利用できない地域で拡大したり、利用可能なあらゆるツールを活用した大気質情報システムを拡充したり、自発的かつ透明性のあるデータ共有を促進したりするための自主的な取組を支持する。我々は、各国の法律や状況に沿って、モニタリング及び分析技術の能力向上、並びにデータの互換性とやりとりを改善するための連携を奨励する。
5. 我々は、大気質への配慮を継続することを目的として、G20 参加国が自発的な形で経験を共有しあうことを支援するための技術ワークショップを招集するという議長国南アフリカのコミットメントを歓迎し、将来の G20 議長国がこの努力を継続し強化することを奨励する。